

科 目 名	児童・家庭福祉論					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	尾 里 育 士						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	児童虐待や家庭内暴力、非行などの問題発生の背景として、家族形態の変容、少子高齢社会、社会経済状況の変動など児童と家庭を取り巻く環境の変化があげられる。本講ではこのような児童と家庭をめぐる問題に対して社会的にどのように対応しようとしているのか、児童福祉の理念・意義をふまえた法制度とその運用の実際について概説する。						
授 業 の 到 達 目 標	社会福祉の実践者として、児童福祉の基礎的な理解ができる。 ①現代社会における児童と家庭の状況とそれを取り巻く環境を理解する。 ②児童福祉の理念の形成過程について理解する。 ③児童の育ちを支える法制度と実施体制の実際を理解する。 ④少子化の現状と子育て支援施策について理解する。 ⑤ひとり親施策の現状と支援施策について理解する。 ⑥要保護児童に対する社会的養護施策を理解する。						
学 習 方 法	講義、DVD視聴						
テキスト及び参考書等	新・社会福祉士養成講座15『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』中央法規						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度				○		10	
受講者の発表							
授業への参加度					○	10	
その他						20	
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	児童と家庭を取り巻く環境						
第 2 週	児童福祉の歴史						
第 3 週	児童福祉の理念と概念						
第 4 週	児童福祉の基本法						
第 5 週	児童の福祉に関連する法制度						
第 6 週	子育て家庭支援に関連する法制度						
第 7 週	児童の福祉と子育て家庭支援に関連する分野の法制度						
第 8 週	児童・家庭福祉制度における組織及び団体の役割と実際						
第 9 週	児童・家庭福祉サービス1：子育て・親育ちの支援について学ぶ						
第 10 週	児童・家庭福祉サービス2：社会的養護児童の自立支援について学ぶ						
第 11 週	児童・家庭福祉サービス3：障害・難病のある子どもの支援について学ぶ						
第 12 週	児童・家庭福祉サービス4：ひとり親家庭の支援について学ぶ						
第 13 週	児童・家庭福祉制度における専門職の役割と実際：児童・家庭福祉にかかわる専門職を理解する						
第 14 週	児童・家庭福祉制度における他職種連携、ネットワーキングと実際：関連分野の専門職とその役割との連携を学ぶ						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	児童と家庭とそれを取り巻く環境の変化に応じて、児童福祉の法制度は改正されている。教員も可能な限り情報を提供するが、学生自らも情報の更新に努めること。						